



府中一小だより

令和7年4月30日
第2号
府中市立府中第一小学校
校長 宮内 和夫

【一小ABC】 Aあたり前のことを Bばかにせず Cちゃんとやる

校長 宮内 和夫

令和7年度がスタートして1か月が経とうとしています。4月はどの子供たちにとっても楽しく充実した学校生活を送るための助走期間のようなもの。私が見る限り、1年生を始めとしてどの学年も順調にスタートを切ることができたように感じます。桜の花が咲いていた始業式・入学式から新緑の季節となり、学習に運動に全力で頑張るには快適な気候となってきました。

ところで、教室の快適な環境とは物理的な温度だけではなく、心理的な環境も大切です。つまり、良い雰囲気大切です。良い雰囲気作りには、第一に教職員が児童一人一人に敬意を払い、個性を尊重し愛情をもって接することが肝要です。そしてもう一つ大切なことが児童間の人間関係です。教室という集団生活の場では様々な考えと生活習慣をもった児童と一緒に過ごします。したがって、児童同士も互いに敬意を払う必要があります。しかし、そのような態度は誰しもが生まれつきもっているのではなく、教育によってもつようになるのだと思います。私たち教職員の大切な仕事の一つは、間違いなく、「他人に敬意を払う考えと態度を児童に自ら示し、教えること」です。このような考えのもとに、教職員一同「一小プライド～愛と情熱、敬意と誠意」を胸に、教育活動に尽力してまいります。



小学校の教育においては、私たち教職員にとって、子供たちとのコミュニケーションだけでなく、保護者の皆様とのコミュニケーションも同じように大切だと考えております。

学校と保護者は子供と一緒に育てていくパートナーです。ご来校の折にはどうぞ遠慮することなく、どんなことでも話しかけてください。何気ない会話は人と人との最高の潤滑油です。また、何かお困りになったときや疑問に思ったときには、遠慮なくお問い合わせをいただきたいと思います。たとえば、保護者の考えと教職員の考えが違ったとき、一番困るのはその間にいる子供たちです。本校は子供を第一に考えます。子供の伸び伸びとした成長のために、保護者の皆様と私たち教職員が互いに敬意をもって協力してまいりましょう。よろしくお願いします。

年度初めの保護者と学校の連携行事である一斉引き渡し訓練では、実際の引き渡しを想定して、一方通行の出入り口固定や土足での計画をしました。保護者の皆様のマナーを守った行動のお陰で大きな混乱もなく、スムーズに実施することができました。ありがとうございました。

月曜日の全校朝会の校長講話の中では必ず子供たちの頑張りの良さを認めてほめる話を一つ入れています。これまでに6年生の入学式準備や1年生お世話の頑張り、2年生の入学式でのアトラクションの頑張り、現4年生が3年生時に取り組んだ府中市交通安全作文コンクールで多くの作品が入賞をしたこと、学校のルールを守る例として忘れ物をしても家に帰らないルールを遵守した5年生についてなど伝えてきました。今後も子供たちの頑張りの良さを伝えていきたいと思います。保護者・地域の皆様も子供たちの学校内外での頑張りや良さ、善行など、お気づきのことがありましたらぜひお知らせください。子供たち、教職員のみならず、地域・保護者の皆様にとっても励みや誇りとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、R7年度学校経営方針に【一小ABC】という行動指針の言葉を新規に入れました。「Aあたり前のこと」は5つ、「あいさつ、返事、廊下歩行、ていねいな清掃、整理整頓」です。全学年で重点的に指導して参ります。ご家庭でのご支援もどうぞよろしくお願いします。